
個人投資家向け会社説明会



ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group

(東証1部、札証証券コード:8377)

平成27年6月



設立 : 平成15年
 本店所在地 : 富山市
 資本金 : 708億円
 自己資本比率 : 11.13%
 格付 : A (R&I)

地方銀行 預金・貸出金27年3月末残高

単位: 億円

	預金 (含む譲渡性預金)		貸出金	
1位	ふくおかFG	127,252	ふくおかFG	103,102
2位	横浜	122,854	横浜	97,780
3位	千葉	112,674	千葉	84,611
4位	ほくほくFG	106,513	ほくほくFG	75,617
5位	山口FG	92,951	静岡	73,931

※各行決算短信より当社作成



設立 : 昭和18年
 (創業明治10年)

本店所在地 : 富山市

店舗数 : 国内187(支店145、出張所42)
 海外6

従業員数 : 2,773人

資本金 : 1,404億円

自己資本比率 : 10.61%

格付 : A (R&I) ・ A- (S&P)



設立 : 昭和26年

本店所在地 : 札幌市

店舗数 : 国内141(本支店135、出張所6)
 海外3

従業員数 : 2,321人

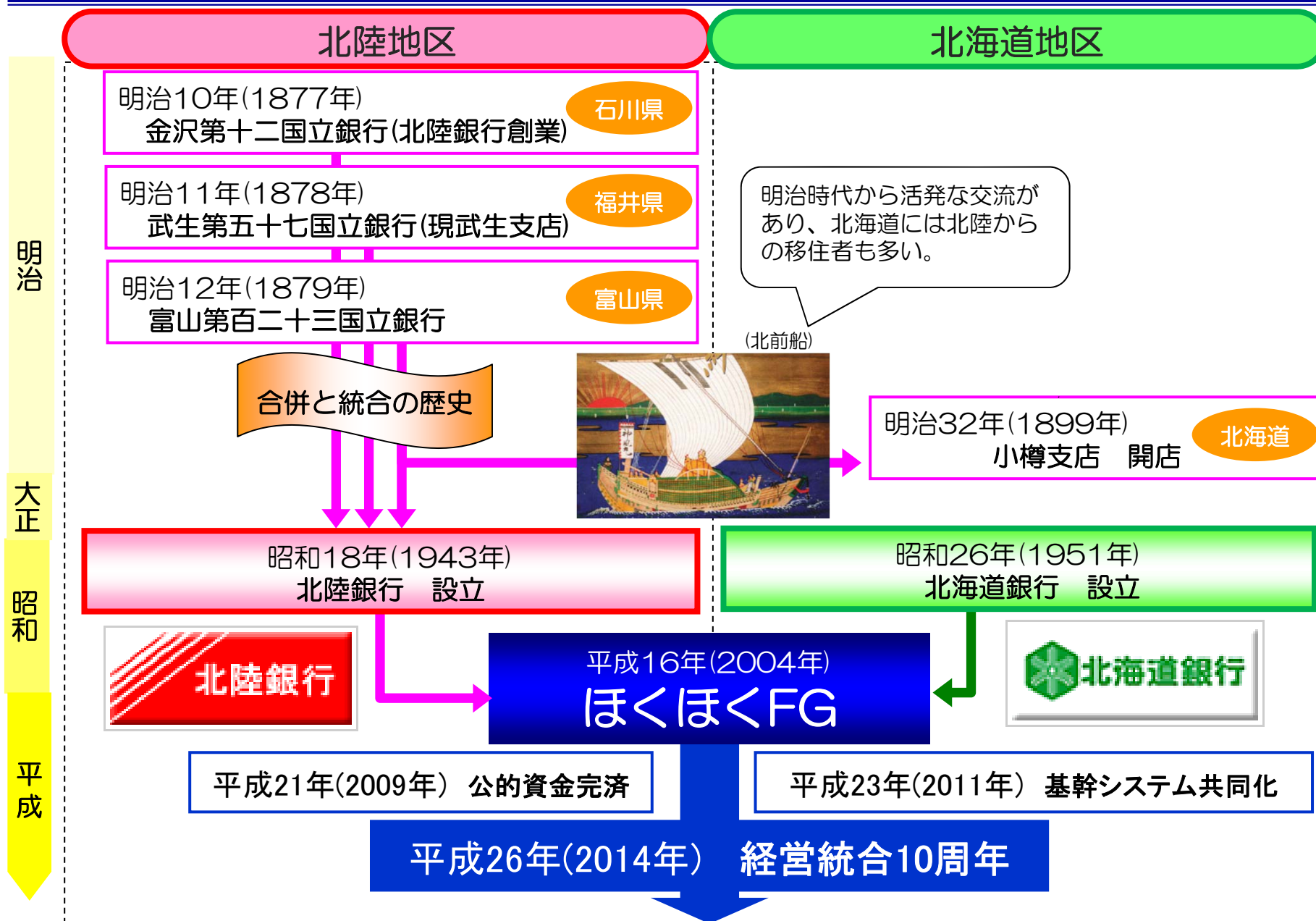
資本金 : 935億円

自己資本比率 : 10.75%

格付 : A (R&I) ・ A (JCR)



ほくほくFGの歩み



中期経営計画 “GO for IT!” 基本方針

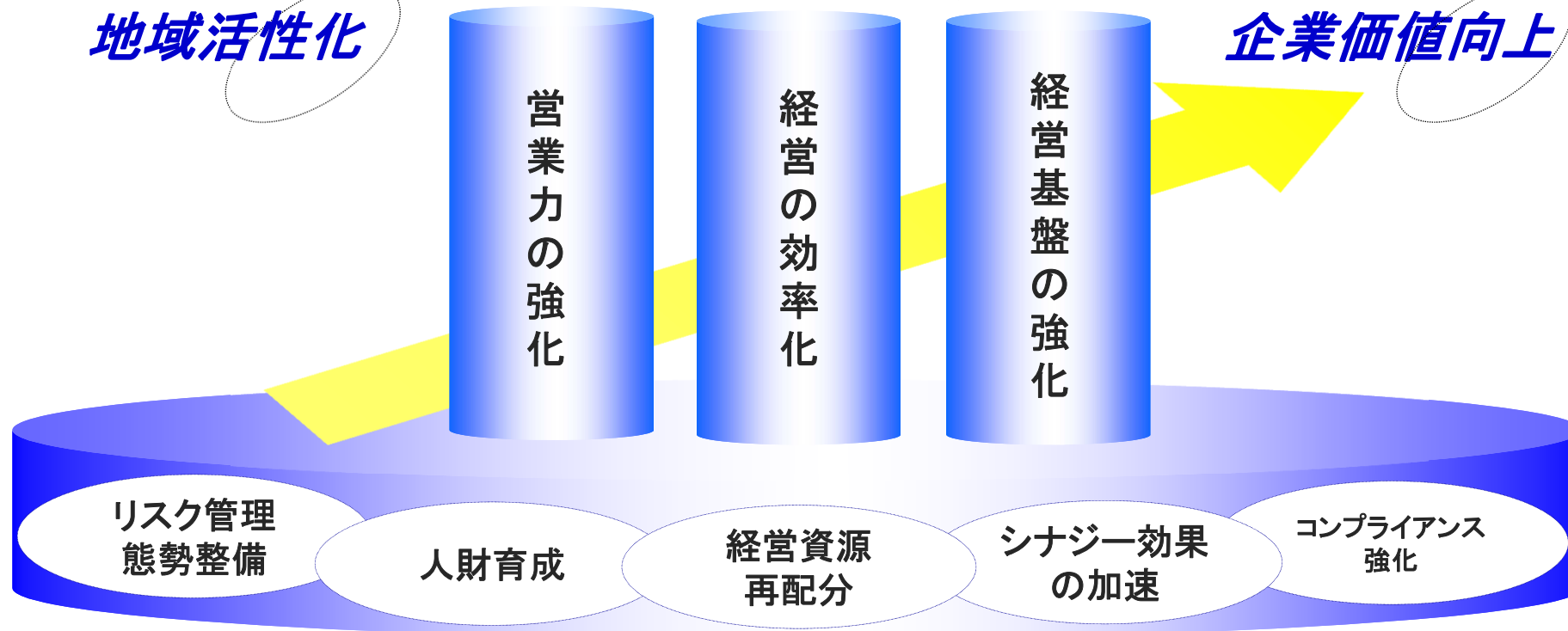
基本方針

- 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。
- 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策を更に推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。
- 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。

平成25年4月 ～ 平成28年3月（3カ年）

地域活性化

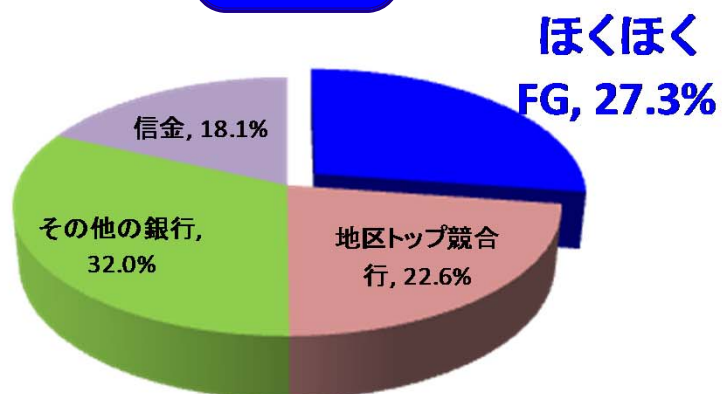
企業価値向上



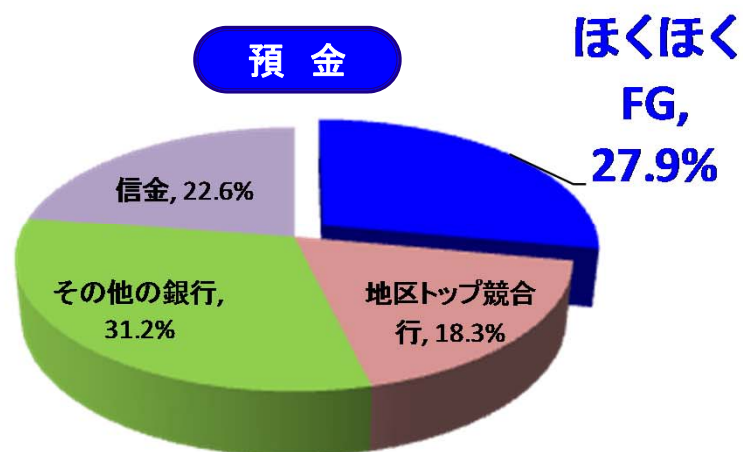
➤ 北陸3県で預金・貸出金ともにトップ、北海道で第2位のシェア

北陸地区

貸出金

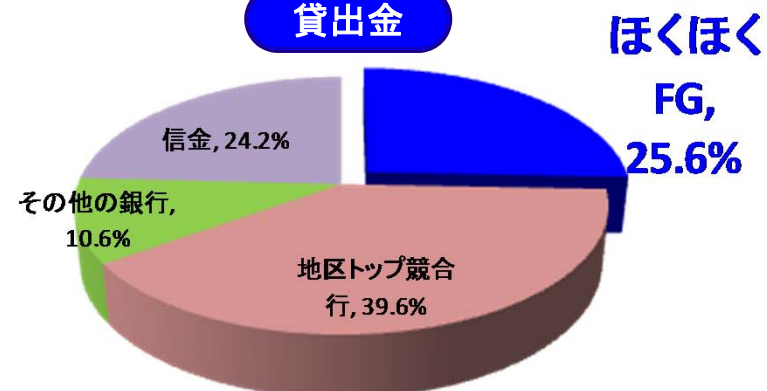


預金

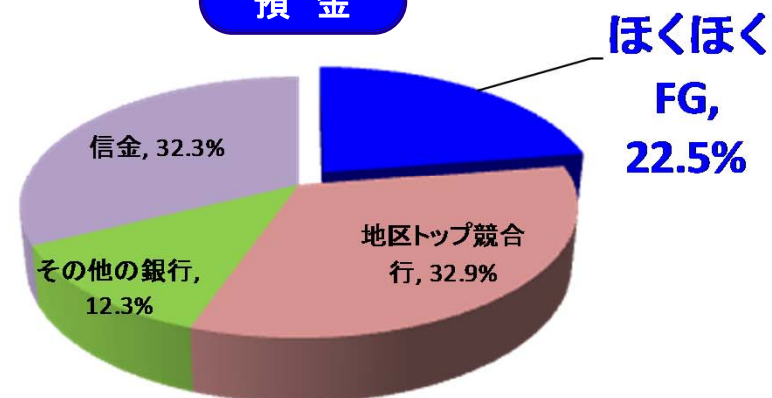


北海道地区

貸出金



預金



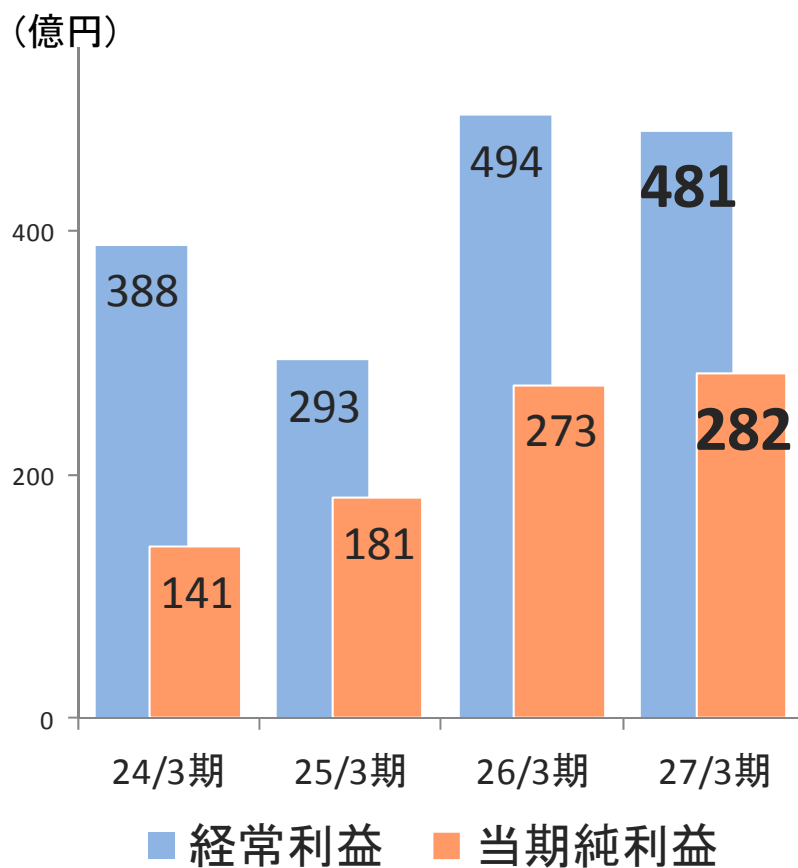
※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、北海道財務局「北海道金融月報」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成

27年3月期 決算概要

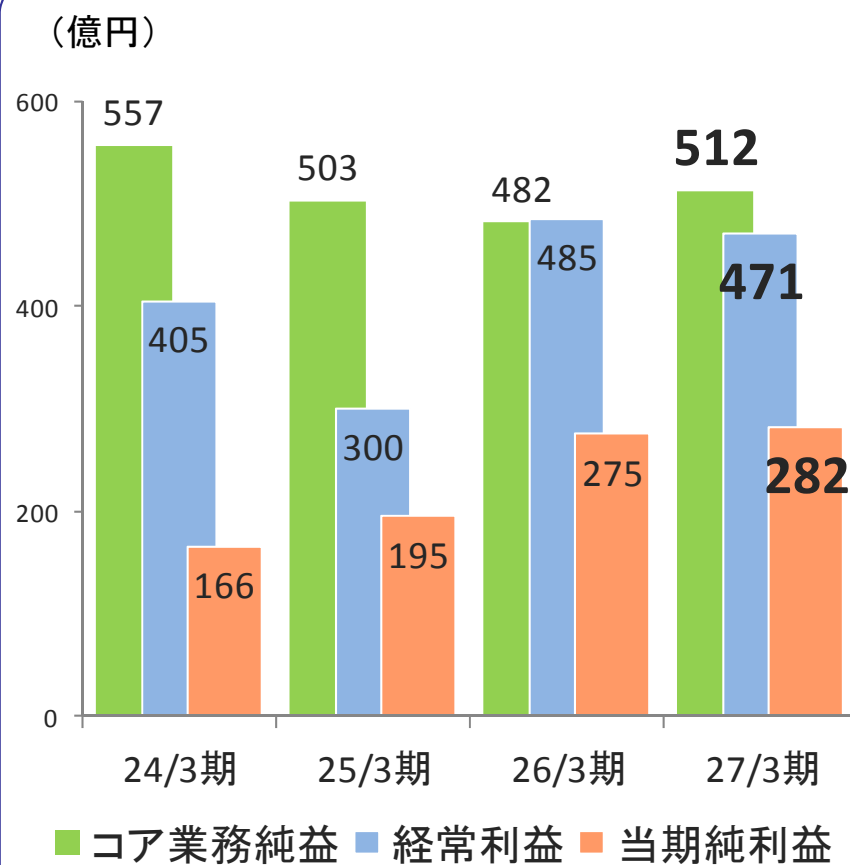
27年3月期決算概要～ 損益

- フィナンシャルグループの**連結当期純利益**は、**282億円**、前年比**＋9億円**
- 北陸銀行・北海道銀行2行合算の**コア業務純益**は、**512億円**、前年比**＋29億円**

損益＜フィナンシャルグループ連結＞



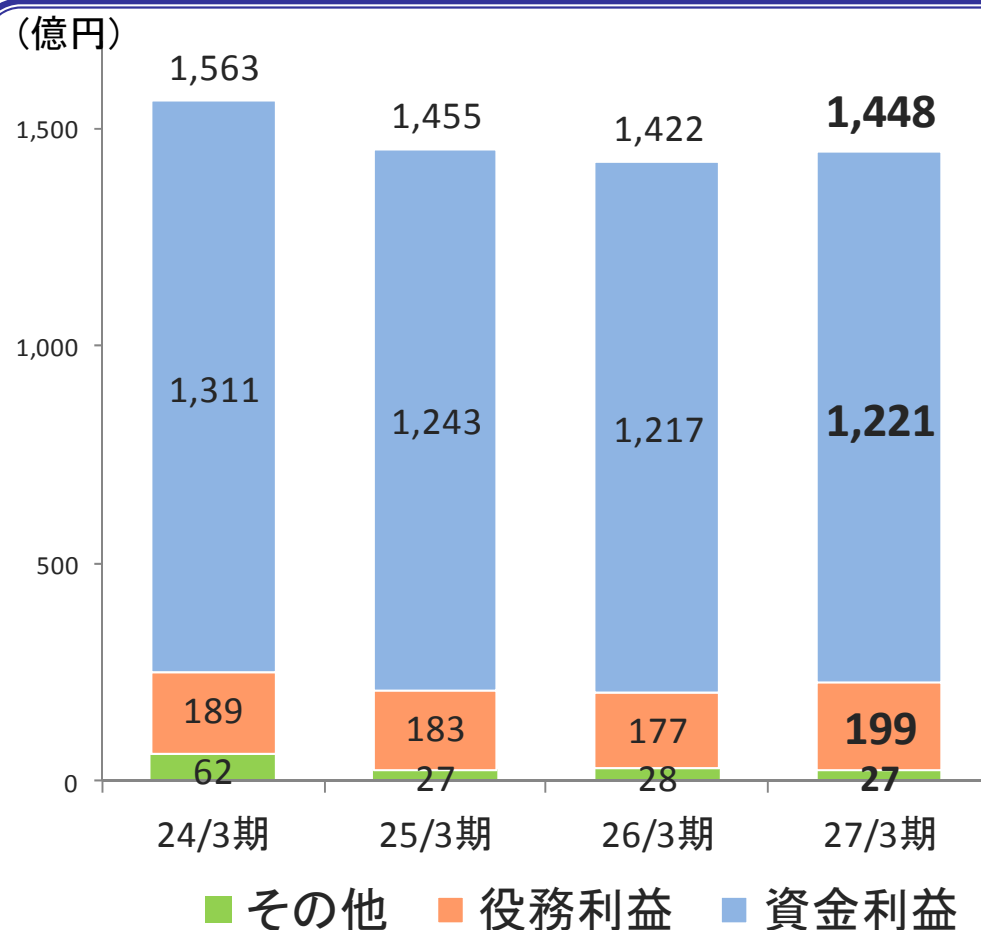
損益＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



27年3月期決算概要～ コア業務粗利益

- 資金利益は、1,221億円、前年比＋4億円
- 役務利益は、199億円、前年比＋21億円

コア業務粗利益＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



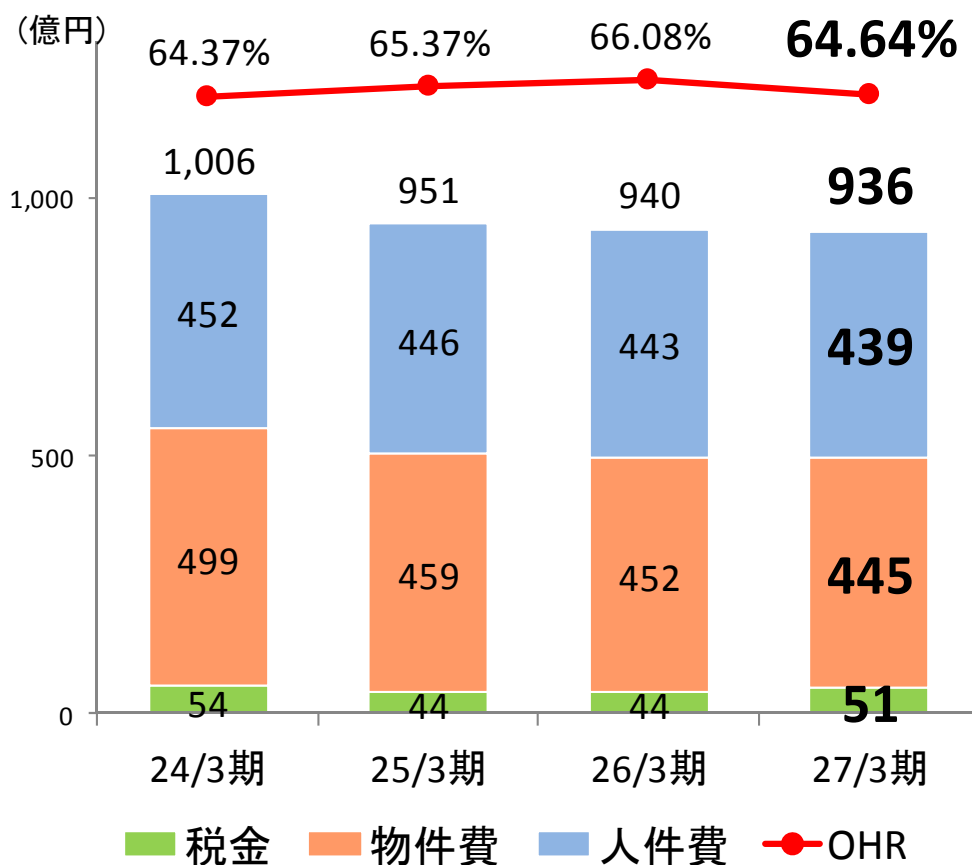
【増減要因】

- ・資金利益
～貸出金利息の減少
有価証券利息配当金の増加
- ・役務利益
～投資信託・保険販売手数料
の増加
- ・その他利益
～金融派生商品収益の増加
外国為替売買損益の減少

27年3月期決算概要～ 経費

- 経費は、消費税増税による増加分を物件費他の減少により補い前年比△4億円
- OHRは、経費の減少及び利益の増加により前年比1.44ポイント改善

経 費＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



【増減要因】

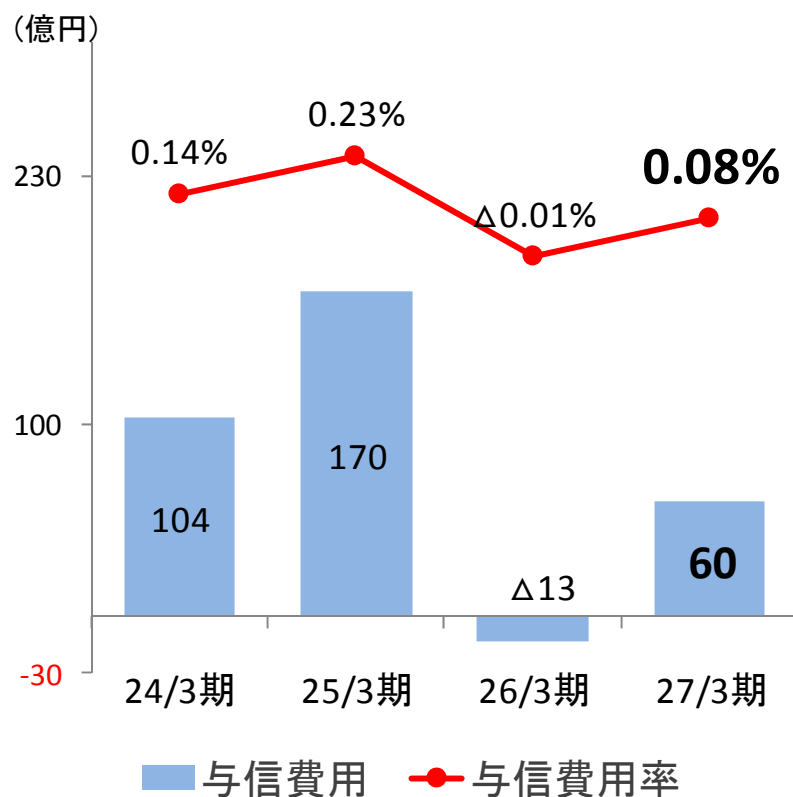
- ・人件費 前年比△4億円
～時間外手当の減少
- ・物件費 前年比△6億円
～事務委託費・
減価償却費の減少
- ・税金 前年比＋6億円
～消費税増税による増加

※OHR＝経費÷コア業務粗利益

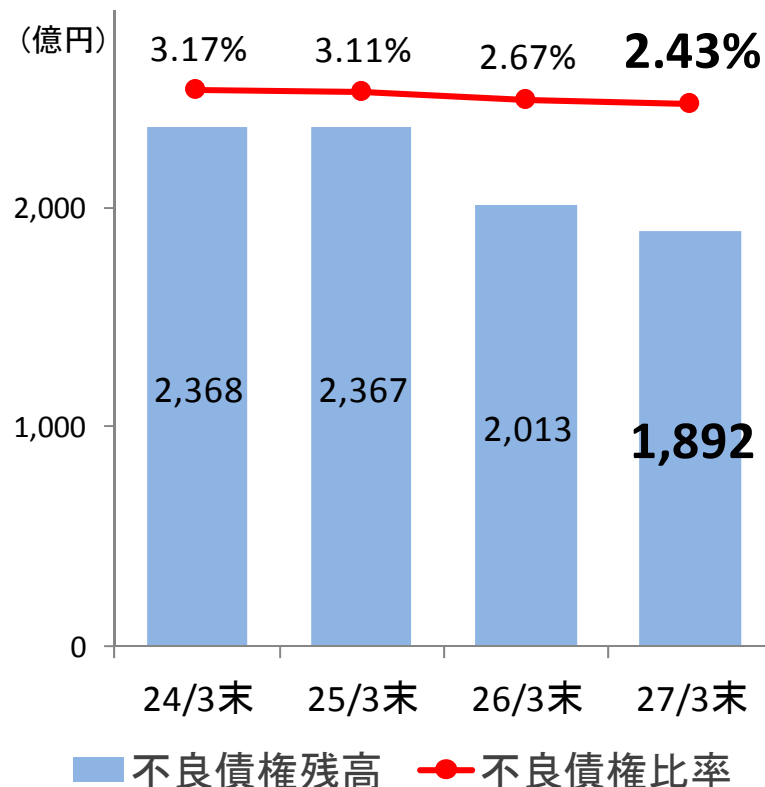
27年3月期決算概要～ 与信費用・不良債権 ほくほくフィナンシャルグループ Hokuhoku Financial Group

- 与信費用は、前年比増加したが**依然低水準**
- 不良債権残高は前年比△121億円、不良債権比率は0.24ポイント改善

与信費用・比率<2行合算>



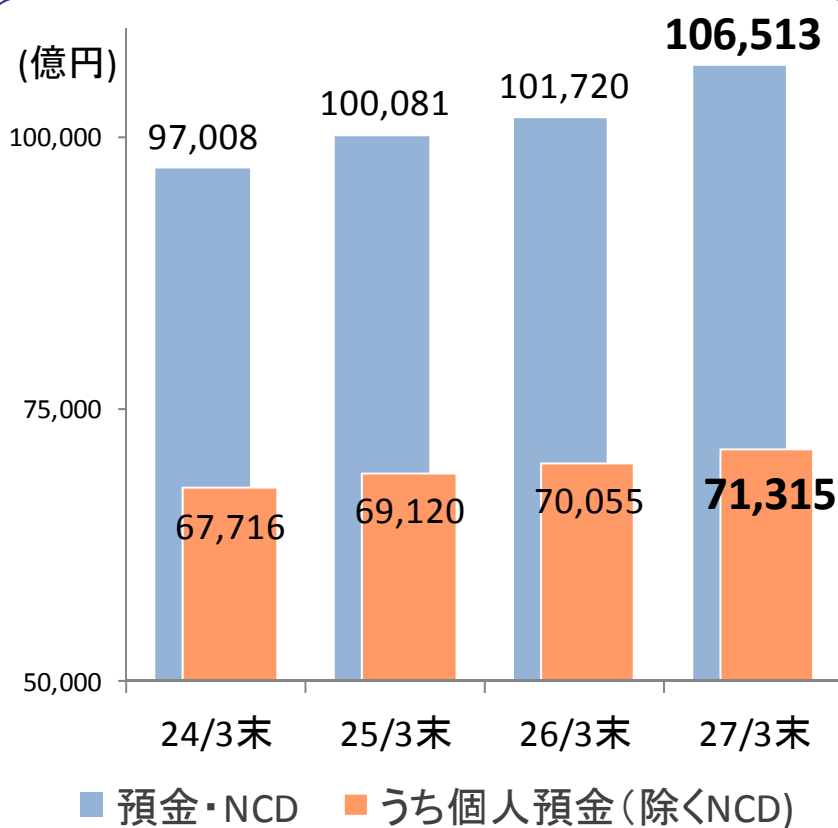
不良債権残高・比率<2行合算>



27年3月期決算概要～ 預金・貸出金

- 預金は、10兆6,513億円、前年比+4,793億円、**年間増減率+4.7%**
- 貸出金は、7兆5,617億円、前年比+2,254億円、**年間増減率+3.0%**

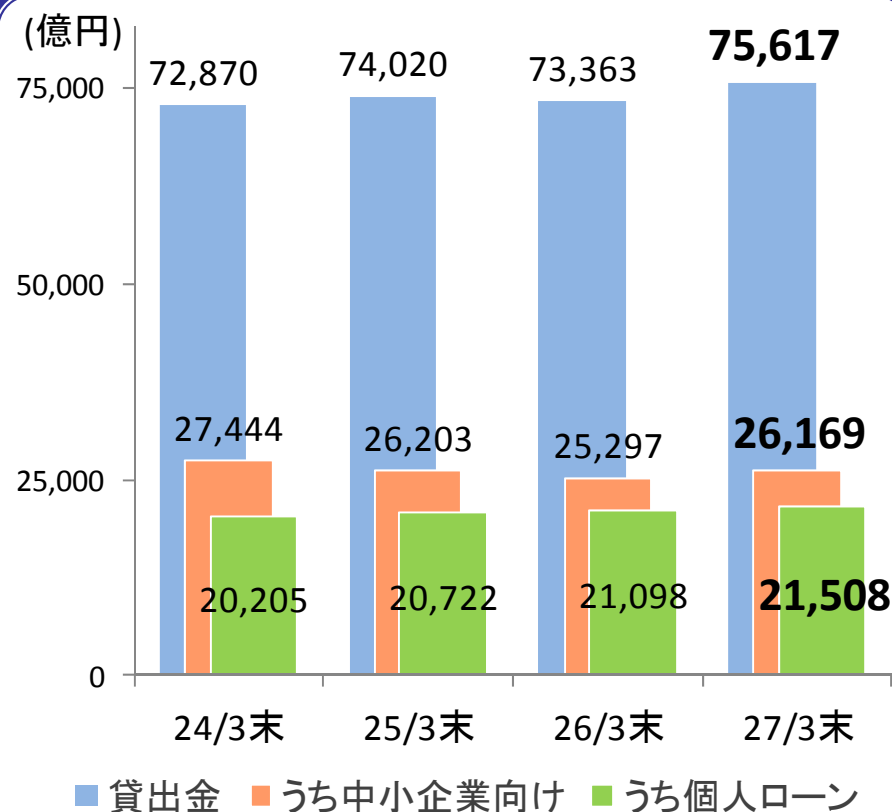
預金・NCD＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



・ 個人預金・法人預金とも増加

※NCD:譲渡性預金

貸出金＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



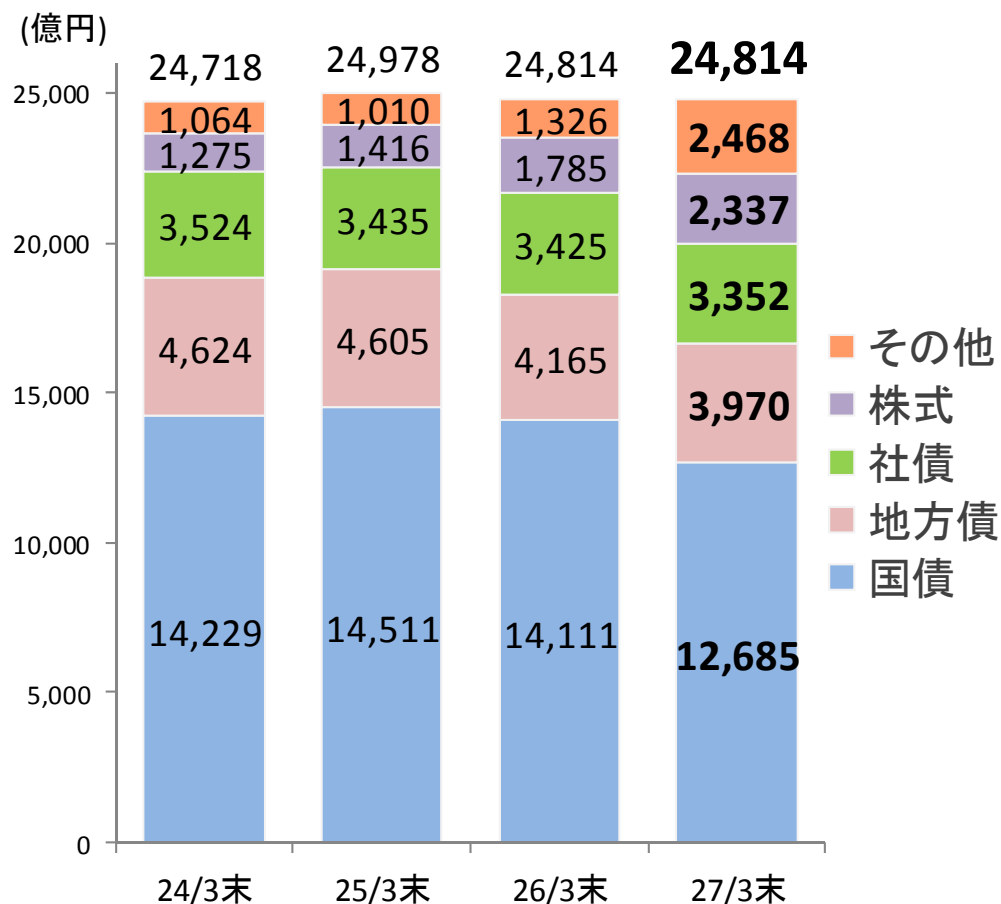
・ 個人ローンは堅調に増加

・ 中小企業向けは減少傾向から増加に

27年3月期決算概要～ 有価証券

- 有価証券は、2兆4,814億円、前年比△0億円
- うち「国債」は前年比△1,425億円、外国証券を主とする「その他」は前年比＋1,141億円

有価証券＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



【有価証券の評価損益】 (億円)

	27/3末	前年比	26/3末
有価証券	1,425	498	926
株式	952	477	474
債券	375	△ 30	405
その他	97	51	46

債券＝国債＋地方債＋社債

【国債】

低金利環境につき売却を実施、
また新規購入を抑制

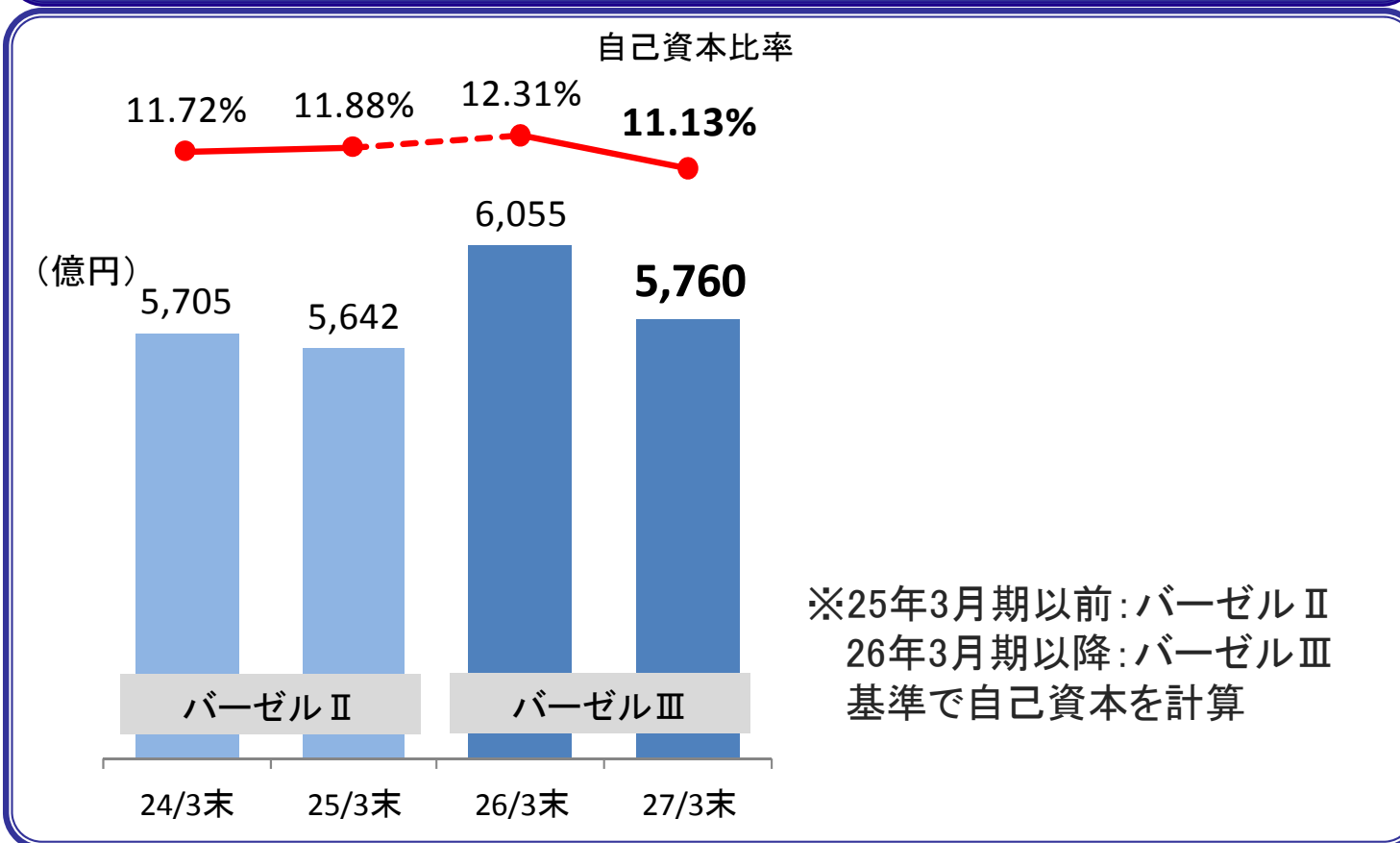
【株式・外国証券】

マーケット情勢を勘案して、株式や
外国証券での運用を強化

27年3月期決算概要～ 自己資本

- 自己資本比率は、**11.13%**、前年比△1.18%
- 利益による剰余金の積み上げを行った一方、劣後債務の返済により自己資本及び自己資本比率は前年比減少（低下）

自己資本・自己資本比率＜フィナンシャルグループ連結＞



27年3月期決算概要～ 子銀行業績

- 北陸銀行：コア業務純益260億円、前年比△4億円
- 北海道銀行：コア業務純益251億円、前年比＋33億円

北陸銀行・北海道銀行 銀行別損益

	北陸銀行		北海道銀行 (億円)	
	27/3期	前年比	27/3期	前年比
経常収益	940	△ 37	854	52
コア業務粗利益	765	△ 5	683	30
経費(△)	504	△ 1	431	△ 3
コア業務純益	260	△ 4	251	33
有価証券等関係損益	36	20	32	26
与信費用(△)	17	60	42	14
経常利益	245	△ 59	226	45
当期純利益	146	△ 31	135	38

【主な増減要因】

	コア業務粗利益	経費	経常利益	当期純利益
北陸銀行	資金利益の減少、投信・保険販売手数料の増加	税金の増加、時間外手当・事務委託費の減少	国債売却益の増加、与信費用の増加	特別損失と法人税等の減少
北海道銀行	資金利益、投信・保険販売手数料の増加	税金の増加、減価償却費・事務委託費の減少	株式売却益の増加、与信費用の増加	法人税等の増加

28年3月期 業績予想

28年3月期 業績予想(FG連結)

	(億円)		
	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	935	1,850	△ 89
経常利益	160	335	△ 146
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	215	△ 67

28年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	4円25銭	4円25銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

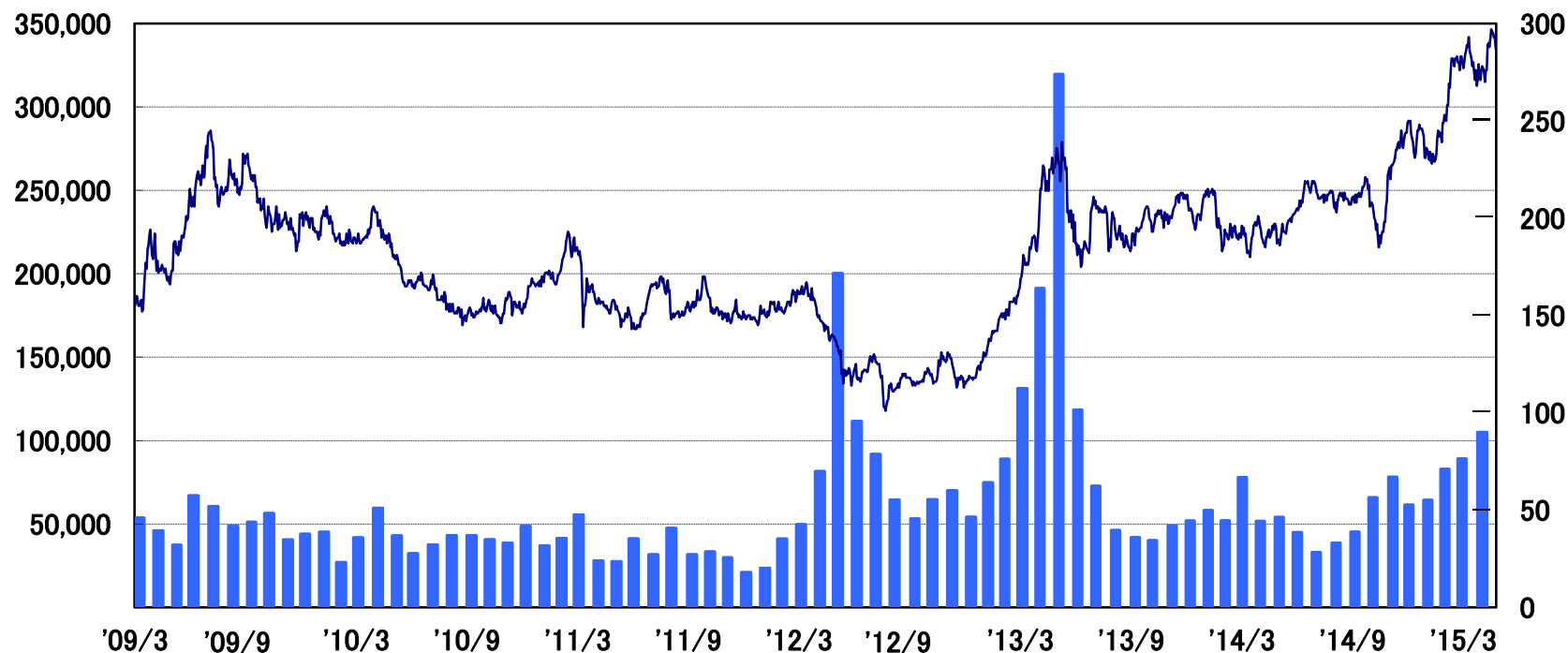
28年3月期 業績予想(北陸銀行・北海道銀行)

	【2行合算】			【北陸銀行単体】			【北海道銀行単体】 (億円)		
	中間期予想	通期予想	前年比	中間期予想	通期予想	前年比	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	865	1,700	△ 94	450	900	△ 40	415	800	△ 54
コア業務粗利益	705	1,405	△ 43	380	760	△ 5	325	645	△ 38
経費(△)	465	935	△ 1	250	500	△ 4	215	435	3
コア業務純益	240	470	△ 42	130	260	△ 0	110	210	△ 41
与信費用(△)	50	105	44	25	55	37	25	50	7
経常利益	170	340	△ 131	90	190	△ 55	80	150	△ 76
当期純利益	110	225	△ 57	55	120	△ 26	55	105	△ 30

ほくほくFG株価の推移

出来高
(千株)

株価
(円)

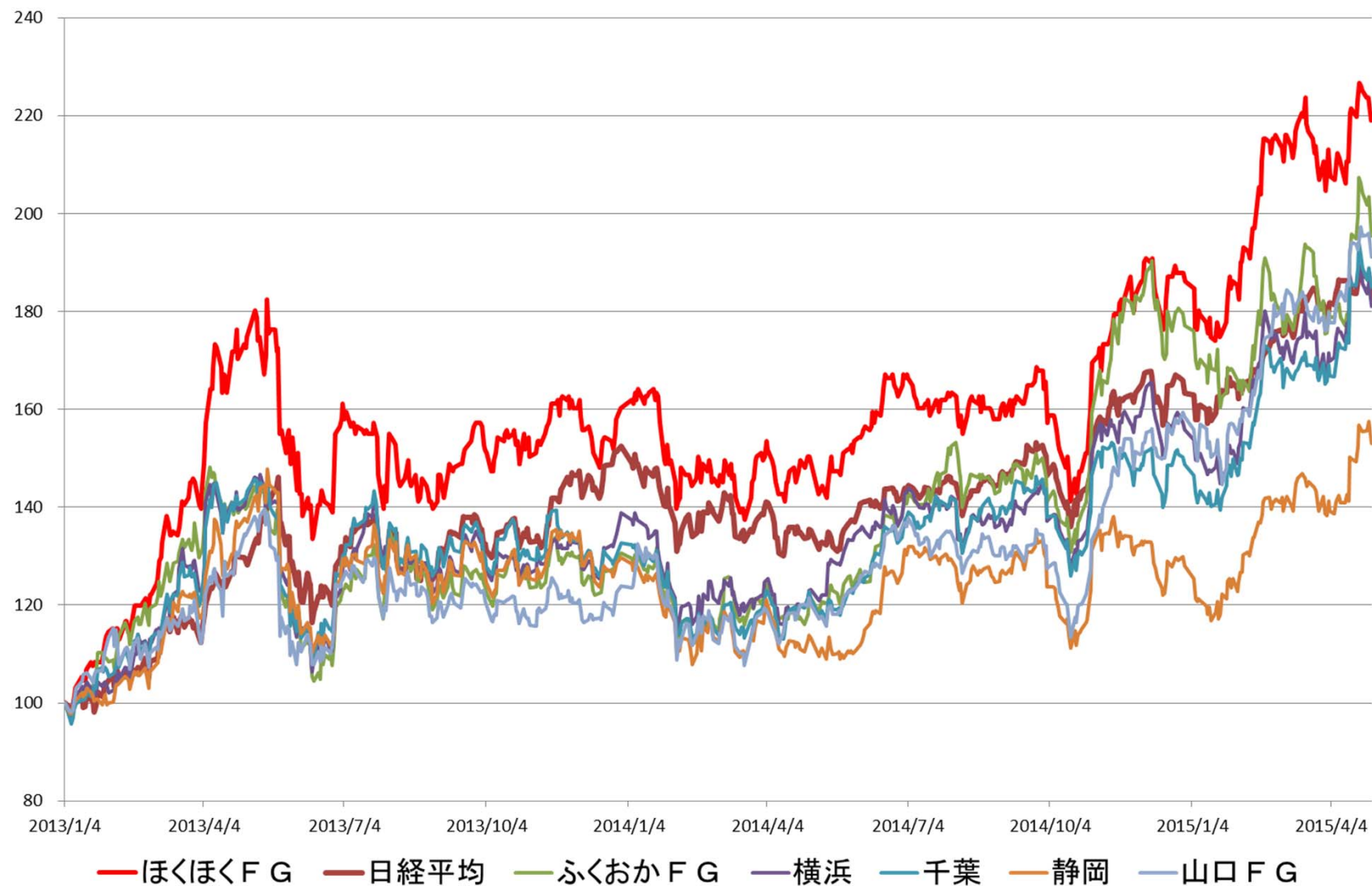


	04.9.01	09.3.31	10.3.31	11.3.31	12.3.30	13.3.29	14.3.31	15.3.31
当社株価	278	179	205	162	158	190	198	268
日経平均	11,127.35	8,109.53	11,089.94	9,755.10	10,083.56	12,397.91	14,827.83	19,206.99
TOPIX	1,135.62	773.66	978.81	869.38	854.35	1,034.71	1,202.89	1,543.11

ほくほくFG
経営統合

ほくほくFG株価の推移

ほくほくFG・日経平均・地銀上位行 株価推移 (2013年1月4日を「100」とした場合)



28年3月期 経営戦略

- **住宅ローン**：①商品リニューアルや②受付チャネルの多様化による、新築資金ニーズに加え、中古住宅購入資金やリフォーム資金ニーズの掘り起し
⇒ **貸出残高の積上げ**

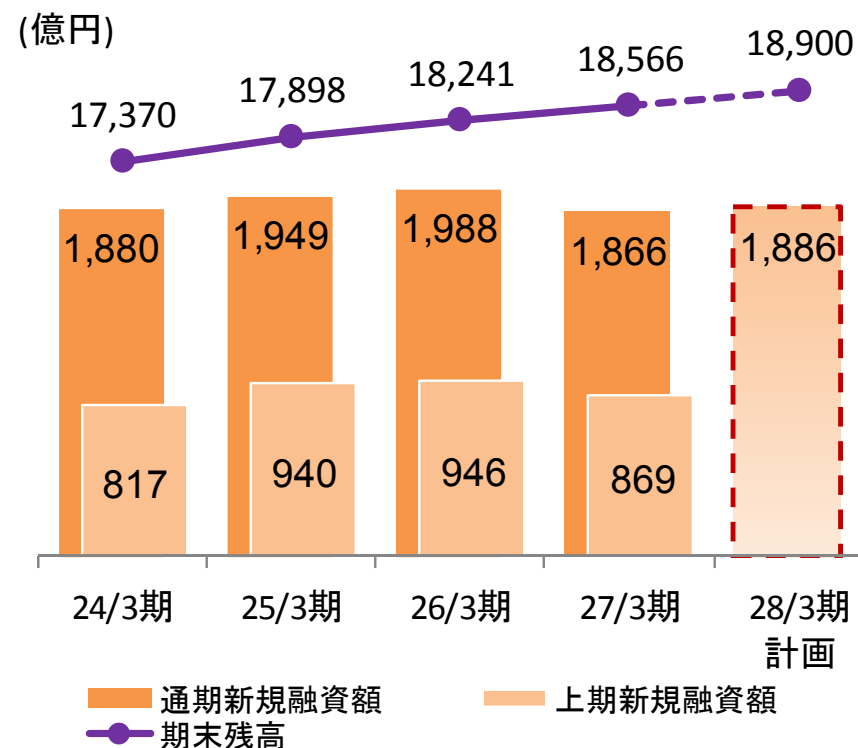
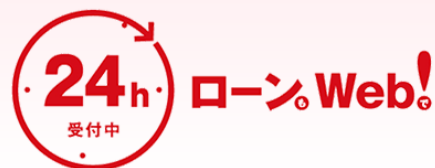
住宅ローン 取組強化

- 「奥さま保障」取扱
- リフォームローン利用限度額拡大
- HPからの住宅ローン事前審査の申込受付
- インターネットでの繰上返済・金利変更受付

インターネットバンキングで
住宅ローンがますます便利に!

- 残高・ご契約内容がネットでわかる!
- 一部繰上返済「ネット完結」
- 金利種類変更「ネット完結」

銀行やATMに行かなくても自宅のパソコンで銀行取引できる♪
道銀ダイレクトサービス

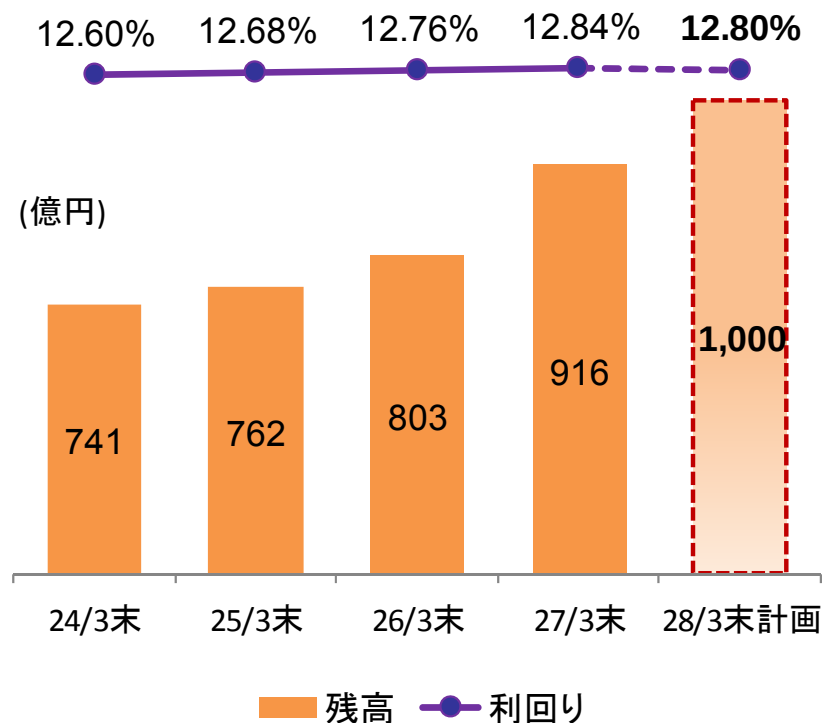


- **カードローン**：①取引状況に応じた利用限度額の拡大や②テレビCMやインターネット広告等による潜在資金ニーズの掘り起し

⇒ **貸出残高の積上げ**

カードローン 推進

- テレビコマーシャル・新聞広告の継続
- インターネット(スマートフォン)、雑誌広告の強化
- ATM告知、IBバナー告知
- 取引状況に応じた利用限度額の拡大



- 資産運用ニーズに対して、投資信託や保険等の①商品ラインナップの充実、②チャネルの多様化、③商品提案力の向上を図る。 ⇒ お客様満足度の向上

商品ラインナップの充実

- 「ラップ型投資信託」の取扱開始
→ 初めて運用される方、運用はしたいけど何に投資をしたら良いかわからない方等のニーズに対応
- インターネットバンキング専用投資信託（北陸銀行：Funds-i、北海道銀行：e-MAXIS）の導入



3つのポイント

- POINT 1 シリーズラインナップ 9本の幅広い品揃え。
- POINT 2 購入時手数料 0円です。
- POINT 3 低い運用管理費用でみなさまの負担を抑えます。

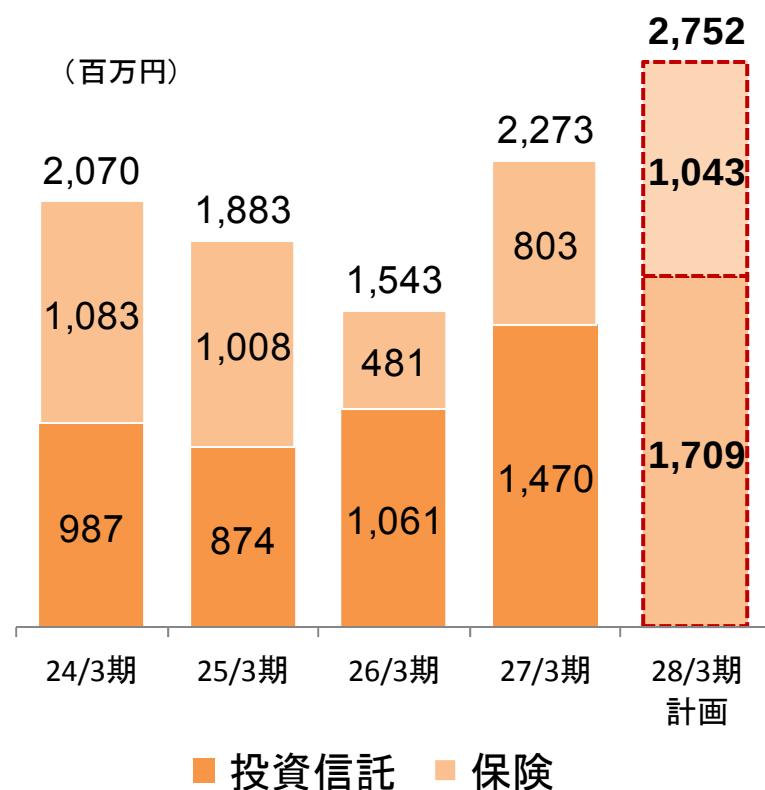
チャネルの多様化・商品提案力の向上

- インターネットバンキング活用
→ スマートフォン専用画面、取引照会アプリ、公共債取引開始
- 資産運用「オンラインセミナー」開催
- タブレット端末の活用
- 満期・償還情報や価格情報等を活用したタイムリーな提案

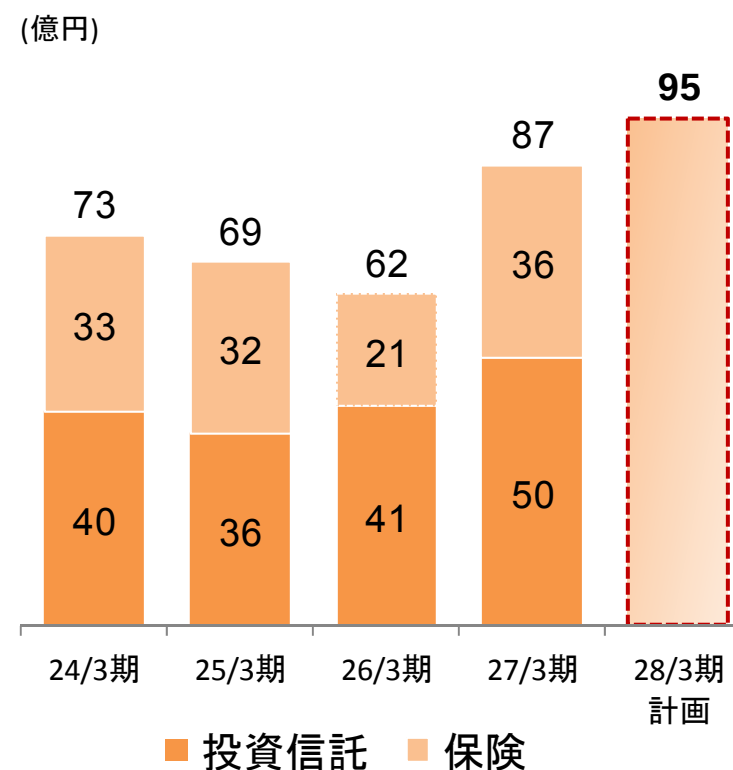


➤ 預かり資産販売増加 ⇒ 役務収益の拡大を目指す

投資信託・保険 販売額



投資信託・保険 収益額



- **事業性貸出**： お客さまが直面している課題を共有 ⇒ 解決策（ソリューション）提案 ⇒ 資金需要の創出 ⇒ **金利競争からの脱却**
- **成長分野**：「**医療・福祉**」「**農業・食**」への支援取組の強化

取引先のニーズ・課題の共有⇒解決案提示

事業課題共有

「ヒト・モノ・カネ」の把握

解決策提案

「ビジネスマッチング」
「M&A」「事業承継」
「海外ビジネス支援」他

資金需要獲得

金利競争とならない
貸出金の積上げ



北陸銀行

取引先別に「応援テーマ」を選定し、お客様の目線に合った営業活動を展開



北海道銀行

全行を挙げて、全力で取り組む先を選定し、本部・支店、役職員一体となった集中工作を展開

医療・福祉

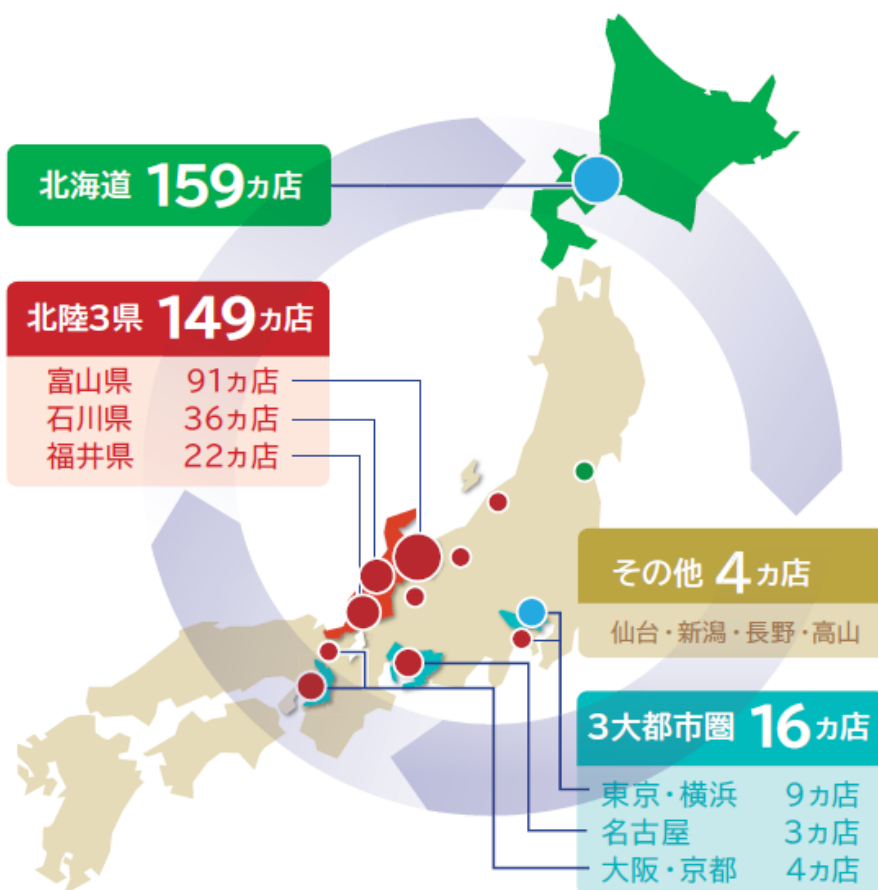
- 「地域ヘルスケア産業支援ファンド」（6億円出資）と協力し、医療・介護事業者への支援を拡大
- 医療専門機関との協働によるアプローチ

農業・食

- 農業者・食関連企業双方の事業拡大・新規事業創出を促進する『6次産業化』の工作を展開
- 農業支援ファンドを通じた資金サポート
「ほくりくアグリ育成ファンド」「道銀アグリビジネスファンド」

- 「北陸」「北海道」「3大都市圏」に広がる「国内ネットワーク」を活用したビジネス機会の創出 ⇒ お客様とのリレーション強化
- 様々なお客様ニーズに対応できる人財の育成

「国内ネットワーク」によるビジネス機会創出



- 北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京～6次産業化商談会～ (27年2月)
- 北海道の『食』特別商談会 (26年11月)
- 「2行連携(ほくほく連携)」によるお客様の相互紹介・ビジネスマッチング
- 「目利き力向上」の研修やコンテストの実施
- グループ人財の活用

弁護士	公認会計士	農業経営アドバイザー	医業経営コンサルタント	医療経営士
4名	9名	73名	1名	25名

- 「中国」「東南アジア」「ロシア」「欧米」に広がる「海外ネットワーク」を活用したビジネス機会の創出 ⇒ お客様とのリレーション強化
- 様々なお客様ニーズに対応できる人財の育成

「海外ネットワーク」によるビジネス機会創出

海外駐在員事務所 9 拠点

北陸銀行 6 北海道銀行 3



- | | |
|----------------|-------------------|
| ① ニューヨーク駐在員事務所 | ⑥ 大連駐在員事務所 |
| ② ロンドン駐在員事務所 | ⑦ 瀋陽駐在員事務所 |
| ③ バンコク駐在員事務所 | ⑧ ウラジオストク駐在員事務所 |
| ④ シンガポール駐在員事務所 | ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所 |
| ⑤ 上海駐在員事務所 | |

●海外駐在員事務所長 お客様向け報告会

- ① 26年10月 北陸銀行ニューヨーク事務所長（札幌）
- ② 27年4月 北陸銀行バンコク事務所長・北海道銀行ユジノサハリンスク事務所長（帯広・札幌）

●タイ・カシコン銀行主催の大規模商談会にお客様をご案内

●「ロシアビジネス交流会 in 札幌」開催（27年2月）

●海外拠点を拡充：ウラジオストク駐在員事務所開設（26年3月）

●海外研修、海外トレーニーの実施

営業地域(北陸・北海道) 景況感の好転・資金ニーズの高まり

北陸地区



富山駅



<北陸新幹線> (27年3月開業)

<資金需要>

- 観光客増加に対応するホテル建設資金
- ホテル増加に伴うクリーニング需要増に対応する工場新築資金
- 小売店舗改装資金

<経済効果> 【北陸経済研究所試算】

富山県約118億円 石川県約124億円

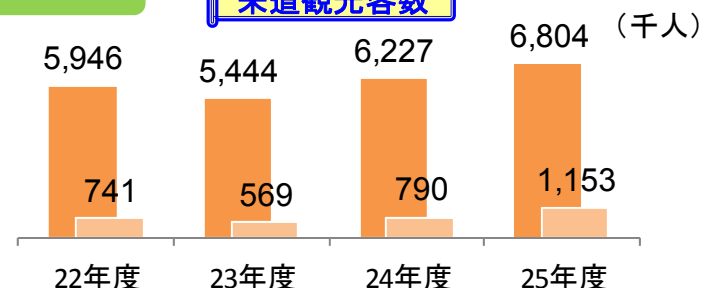
<本社機能(一部)移転>

YKK(株)・YKKAP(株)

本社機能の一部を富山県に移転
加賀東芝エレクトロニクス(株)
研究開発部門を石川県に集約

北海道地区

来道観光客数



■ 来道観光客数 ■ うち外国人 北海道庁HPより

<観光客増加>

来道客数は、スキー旅行のほか、さっぽろ雪まつりなどのイベントも貢献し、好調を維持している。

<北海道新幹線> (28年3月開業予定)

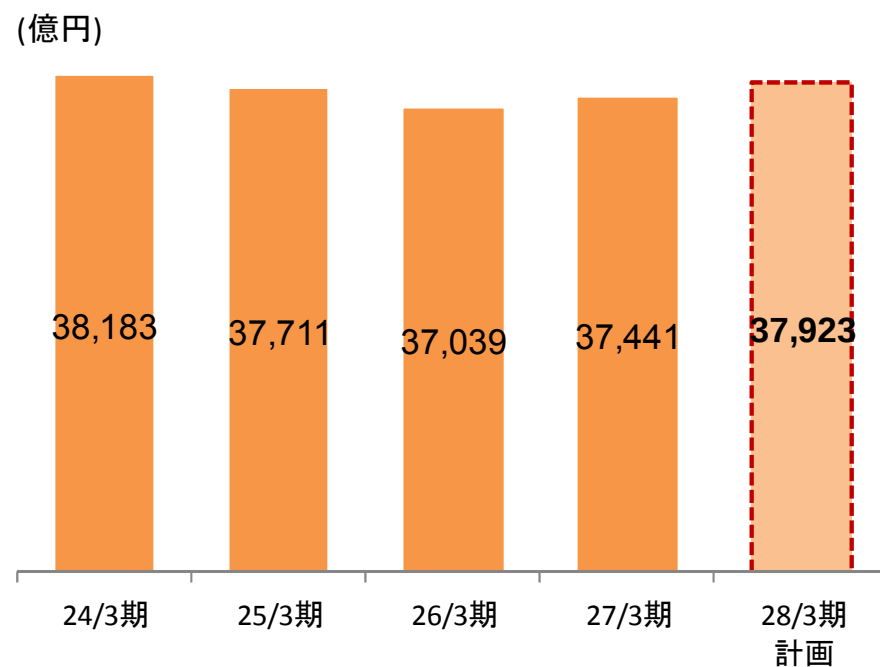


新函館北斗
～新青森

<経済効果> 年間約136億円

【日本政策投資銀行北海道支店試算】

事業性貸出 平均残高推移

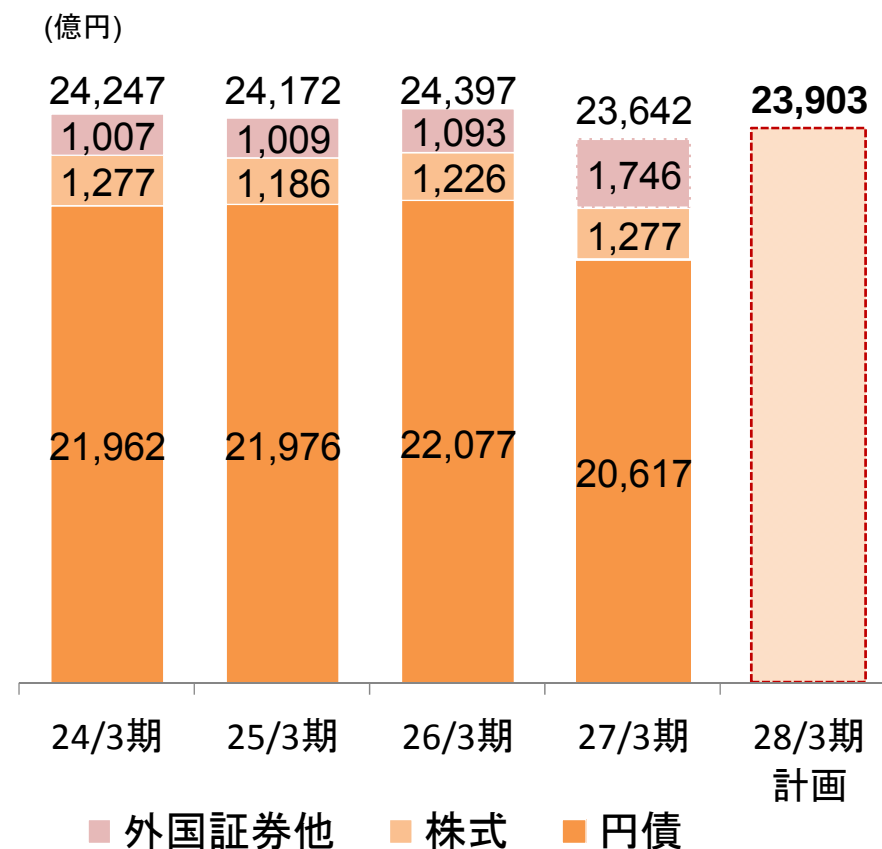


- 増加傾向を定着させる

- **有価証券**：マーケット状況を見つつ、**外国証券**、**投資信託**での機動的な運用
⇒ 貸出金利息減少の補填

平成27年度 運用方針 平均残高推移

- 長期金利の低位推移を想定し、外国証券や投資信託等での運用を強化し、利回りの向上を図る。
- 国債の償還資金についても、外国証券等での運用に切り替える。
- 国債の追加購入については、当面控え、金利動向を見極めながら検討を行う。

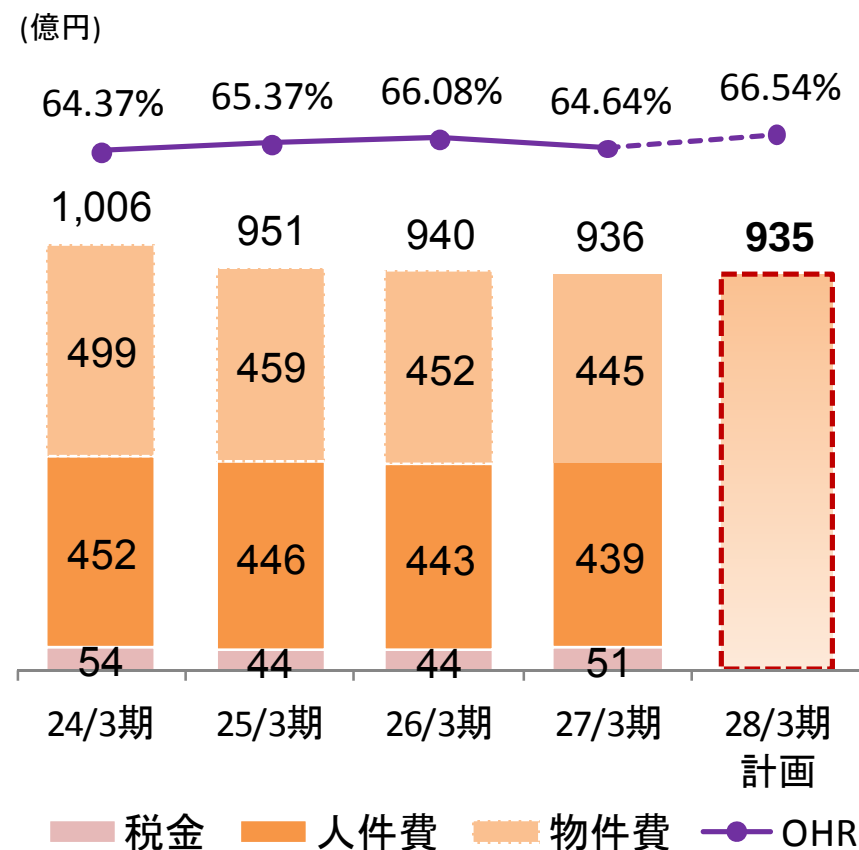


➤ 経 費：事務効率化・本部集中化・2行共同化による経費節減

効率化施策

経費・OHR推移

- 「営業店運営体制」見直しによる効率化
- 事務効率化・本部集中による人件費削減
- シナジー効果の加速
 - ① 管理業務（リスク管理、監査等）の業務集約化促進
 - ② 営業店事務・サブシステムの統一化



地域創生

- 政府「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、北陸三県・北海道「地方版総合戦略」の策定および推進を積極的に支援。
- 組織横断的な支援体制を構築
 - ＜北陸銀行＞
地域創生応援プロジェクトチーム
 - ＜北海道銀行＞
道銀地方創生本部
- 現在、道県及び各市町村と連携し、当社グループで支援できる内容を協議中。

女性活躍

- 「女性活躍促進ミーティング」の実施
女性行員の職務開発や諸制度の整備に反映
- 復職・再雇用支援
 - 産前・産後フォローツールの導入検討
 - 職場復帰面談シートの制定
 - 再雇用制度の充実
 - 育児休業期間延長
- 地方銀行協会「女性マネジャー養成講座」への参加

地域貢献活動

<北陸銀行・北海道銀行>

- ・ 26年12月「エコノミクス甲子園」開催

<北陸銀行>

- ・ 「新幹線応援ボード」設置
- ・ 一斉おもてなし清掃

<北海道銀行>

- ・ 女子カーリングチーム「フォルティウス」
27年3月世界女子カーリング選手権
日本代表
- ・ 「リクルート北海道じゃらん」と提携し、
北海道・東北をPR

エコノミクス甲子園



新幹線応援ボード



リクルート北海道じゃらん



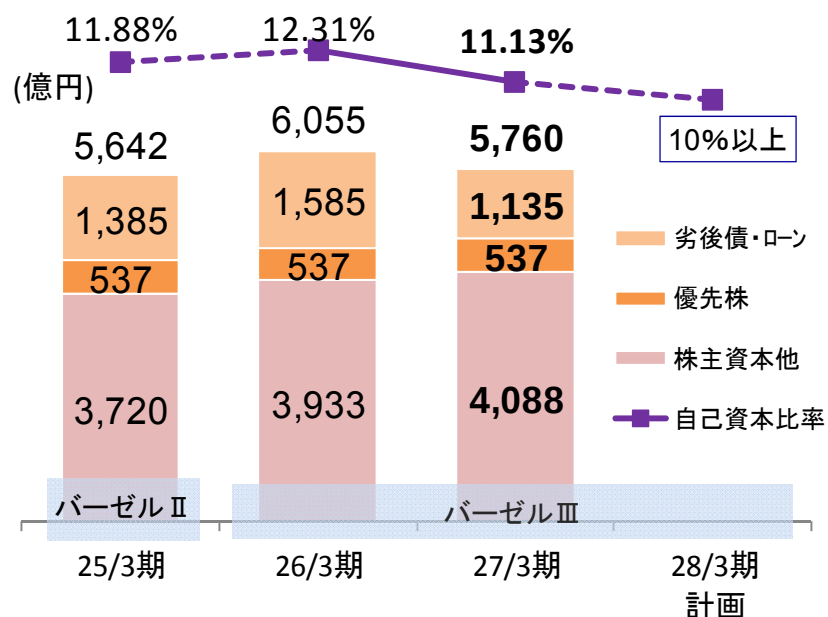
北海道銀行 フォルティウス



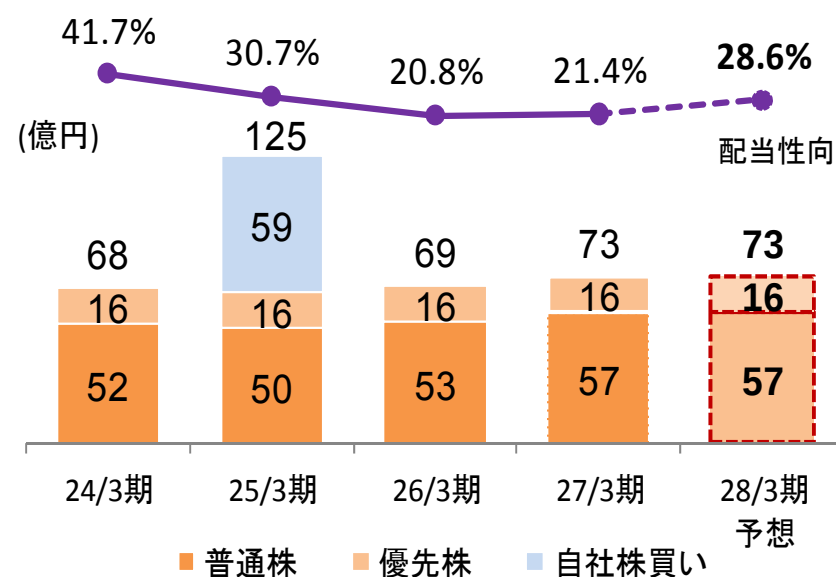
➤ 自己資本比率：収益の積上げ・リスクアセットのコントロール

⇒ 28年3月末10%以上

連結自己資本比率



株主還元



普通株配当額推移(一株当たり)

20/3	21/3	22/3	23/3~25/3	26/3	27/3	28/3 (予想)	(円)
2.50	3.00	3.50	3.75	4.00	4.25	4.25	

● 安定的な配当を目指す

業績推移・営業地域の状況

主要経営指標の推移 (ほくほくFG)

(単位: 億円)

(ほくほくFG連結)	23/3期 通期	23/9期 半期	24/3期 通期	24/9期 半期	25/3期 通期	25/9期 半期	26/3期 通期	26/9期 半期	27/3期 通期
経常収益	2,146	1,057	2,079	1,057	1,991	952	1,909	964	1,939
経常利益	372	189	388	89	293	235	494	218	481
当期純利益	184	89	141	61	181	123	273	138	282
自己資本比率	11.29%	11.57%	11.72%	11.90%	11.88%	12.04%	12.31%	11.38%	11.13%

(2行合算)

コア業務粗利益	1,554	773	1,563	735	1,455	715	1,422	720	1,448
経費	986	514	1,006	485	951	478	940	477	936
コア業務純益	567	259	557	250	503	237	482	243	512
有価証券等関係損益	▲ 10	12	▲ 14	▲ 35	4	10	22	32	69
与信費用	145	64	104	104	170	0	▲ 13	30	60
経常利益	370	193	405	94	300	233	485	223	471
当期(中間)純利益	196	98	166	70	195	126	275	148	282
ROA(コア業務純益ベース)	0.56%	0.49%	0.53%	0.47%	0.47%	0.43%	0.44%	0.43%	0.45%
OHR(コア業務粗利益ベース)	63.47%	66.46%	64.37%	65.98%	65.37%	66.87%	66.08%	66.17%	64.64%
貸出金(末残)	72,411	72,361	72,870	73,138	74,020	73,696	73,363	74,801	75,617
預金(末残)含む譲渡性預金	95,238	95,347	97,008	97,876	100,081	100,894	101,720	104,890	106,513
有価証券(末残)	23,151	24,658	24,718	23,926	24,978	25,404	24,814	24,338	24,814
金融再生法開示債権	2,205	2,298	2,368	2,521	2,367	2,161	2,013	1,969	1,892
開示債権比率	2.96%	3.08%	3.17%	3.36%	3.11%	2.85%	2.67%	2.56%	2.43%

主要経営指標の推移 (北陸銀行)

(単位: 億円)

	23/3期 通期	23/9期 半期	24/3期 通期	24/9期 半期	25/3期 通期	25/9期 半期	26/3期 通期	26/9期 半期	27/3期 通期
経常収益	1,088	540	1,054	562	1,030	485	977	480	940
コア業務粗利益	885	452	885	424	823	389	770	381	765
経費	538	277	542	259	509	258	505	259	504
コア業務純益	346	174	343	164	314	130	264	122	260
有価証券等関係損益	▲ 28	▲ 10	▲ 11	▲ 36	▲ 12	6	16	27	36
与信費用	71	19	44	95	93	▲ 9	▲ 42	8	17
経常利益	229	138	274	23	183	139	304	125	245
当期(中間)純利益	119	69	114	19	123	72	178	78	146
自己資本比率	11.32%	11.62%	11.85%	11.89%	11.78%	11.95%	12.40%	10.98%	10.61%
ROA(コア業務純益ベース)	0.59%	0.58%	0.57%	0.55%	0.52%	0.42%	0.42%	0.38%	0.40%
OHR(コア業務粗利益ベース)	60.85%	61.32%	61.25%	61.17%	61.84%	66.39%	65.65%	67.98%	65.94%
貸出金(末残)	42,523	42,057	42,339	42,455	43,327	42,712	42,276	42,927	43,653
預金(末残)含む譲渡性預金	54,399	54,165	55,451	55,412	57,262	57,968	59,090	59,059	60,760
有価証券(末残)	12,175	12,857	13,154	11,782	12,696	12,961	12,383	12,191	12,754
金融再生法開示債権	1,443	1,531	1,535	1,681	1,484	1,342	1,203	1,141	1,097
開示債権比率	3.28%	3.52%	3.53%	3.86%	3.34%	3.06%	2.78%	2.60%	2.46%

主要経営指標の推移 (北海道銀行)

(単位: 億円)

	23/3期 通期	23/9期 半期	24/3期 通期	24/9期 半期	25/3期 通期	25/9期 半期	26/3期 通期	26/9期 半期	27/3期 通期
経常収益	870	432	875	423	816	402	802	416	854
コア業務粗利益	668	321	678	310	631	326	652	339	683
経費	447	237	464	225	442	219	434	217	431
コア業務純益	221	84	214	85	189	106	217	121	251
有価証券等関係損益	17	22	▲ 2	1	17	3	6	5	32
与信費用	74	44	59	8	76	9	28	21	42
経常利益	141	54	131	71	116	94	180	98	226
当期(中間)純利益	77	29	52	50	72	54	96	70	135
自己資本比率	10.59%	10.57%	10.80%	11.05%	11.23%	11.08%	10.76%	10.79%	10.75%
ROA(コア業務純益ベース)	0.51%	0.37%	0.47%	0.37%	0.41%	0.45%	0.47%	0.51%	0.53%
OHR(コア業務粗利益ベース)	66.93%	73.69%	68.44%	72.57%	69.98%	67.44%	66.60%	64.14%	63.18%
貸出金(末残)	29,888	30,304	30,530	30,683	30,693	30,984	31,086	31,874	31,964
預金(末残)含む譲渡性預金	40,839	41,182	41,557	42,464	42,819	42,926	42,629	45,830	45,753
有価証券(末残)	10,976	11,801	11,564	12,144	12,282	12,443	12,431	12,146	12,059
金融再生法開示債権	763	767	833	840	882	819	810	828	796
開示債権比率	2.49%	2.47%	2.66%	2.66%	2.79%	2.56%	2.52%	2.50%	2.40%

プライムエリア（北陸・北海道）の特徴

人口・面積

総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2015」(2013年度実績)

	富山	石川	福井	北陸三県計	北海道	プライム エリア
人口 (順位)	108万人 (37位)	116万人 (34位)	80万人 (43位)	304万人	543万人 (8位)	847万人
面積(km ²) (順位)	4,248 (33位)	4,186 (35位)	4,190 (34位)	—	83,457 (1位)	—

県内総生産

内閣府「平成23年度県民経済計算」、
総務省統計局「世界の統計2015」(1米ドル当り97.596円、2013年)

	富山	石川	福井	北陸三県	北海道	プライム エリア
県内総生産 (割合) (順位)	44,365 (0.89%) (28位)	42,175 (0.85%) (32位)	32,358 (0.65%) (41位)	118,899 (2.39%)	182,630 (3.67%) (8位)	301,529 (6.06%)

(億円)

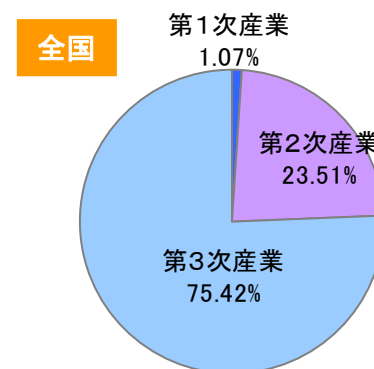
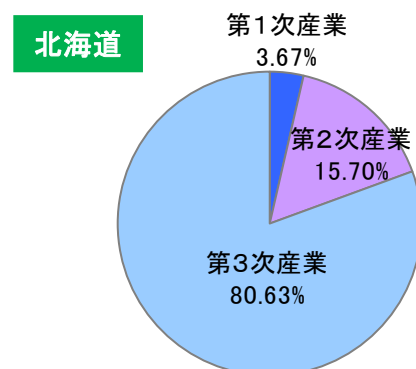
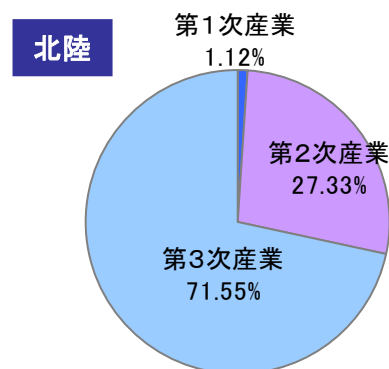
◎シンガポールを
凌ぐ規模！

(億円)

1位	アメリカ
2位	中国
36位	シンガポール (288,634)

産業別構成

内閣府「平成23年度県民経済計算」



事業所数

総務省統計局「平成24年経済センサス-活動調査」
(千社)

北海道	242
北陸	163
富山	55
石川	64
福井	44

(2015年4月)

月例経済報告(内閣府)

地域経済報告(日本銀行)

全国

北陸

北海道

景気

緩やかな回復基調が続いている

回復している

緩やかに回復している

公共投資

弱めの動きとなっている

減少傾向にある

減少している

設備投資

おおむね横ばいとなっている

一段と増加している

一段と増加している

個人消費

総じてみれば
底堅い動きとなっている

緩やかに持ち直している

回復している

住宅建設

底堅い動きとなっている

横ばい圏内で推移している

下げ止まりつつある

生産

持ち直している

増加している

高水準で推移している

雇用

改善傾向にある

着実に改善している

着実に改善している

消費者物価

横ばいとなっている

前年を上回っている

前年比上昇率が縮小している

企業倒産

緩やかに減少している

件数は前年を下回っているが、
負債総額は前年を上回っている

落ち着いた動き

※ 内閣府「月例経済報告」、日本銀行「地域経済報告」より

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：宮崎）

TEL：076-423-7331

FAX：076-423-9545

E-MAIL：honsa2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。